

鎮西学院だより「シャロン」

2017. Vol.4

Sharon

2017 年度 学院目標聖句

「自分自身の内に塩を持ちなさい。」

マルコによる福音書 9 章 50 節



地域に開かれた大学として、
地域から要請されるニーズに
応えていきたいと思う。

長崎ウエスレヤン大学 学長 佐藤 快信

Profile

東京農工大学大学院終了後、長崎ウエスレヤン大学の前身である長崎ウエスレヤン短大へ。2012年より現代社会学部学部長を務め、2014年4月に現職に就任。専門は資源・環境論。地域資源と住民参加型地域づくりとの関係を調査研究している。

長崎県内のさまざまな地域を巡り
多くの人と語らい
多くの実績を重ねてきた佐藤学長は
時には子どものような笑顔をのぞかせる
好奇心旺盛な研究者。
変革の時代を迎えた今、
大学への思いを語っていただきました。



大学院生時代(1987年)にヨーロッパを約1ヶ月間
旅していたとき(ロンドンにて)



まちづくりの先駆けとして 地域の価値を見出して

日本各地でまちづくりの活動が盛んになってきています。しかし、長崎ウエスレヤン大学はかなり前からまちづくりに着目し、森学院院长や佐藤学長を中心にさまざまな取り組みを行ってきました。

「地域の皆さんがあたりまえと思っていることやものが、実は、他から高い評価が得られる。そうした価値が非常に大事なのではないかと」ことに、1990年代の半ばぐらいに気づきました。そこから、地域の資源を見つめながら、地域の皆さんの幸せや夢を実現していくにはどうしたらいいかということを考えはじめました。

まだ住民参加型のまちづくりが表面化していない中で、学生といっしょに地域に入り込んでいった、まさに先駆けです。

「外部者である僕や学生が関わることで、地域の皆さんに地域の価値をどう気づいていただくか。実践的な形で取り組んできました」。

人口急減、超高齢化という課題に対応すべく、まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)が制定されました。

「歴史は繰り返すではないけれど、改めてクローズアップされてきたと感じています。根本的に、まちづくりには、そこに住んでいる人の思いがとても重要だと思っています。そこに住んでいる人の目線ととらえることが大事。僕は生活視点と言っています」。

森学院院长と佐藤学長が築いてきたことが、今の長崎ウエスレヤン大学のあり方につながってきたということかと。

「私学というのは本来、地域とともに

あるという存在でなければならぬと思います。地域に開かれた大学というのが、うちのキーワードのひとつにもなっています」。

文化的な部分を担い 多彩なチャレンジを

長崎ウエスレヤン大学は、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学が集まる文教地区にあります。

「エリアの中で、大学は文化的な部分を担わないといけないと思っています」。

長崎ウエスレヤン大学という大学名はメソジスト教会の創始者ジョン・ウエスレーに由来し、メソジストの流れを継承しています。そうした中で、文化的な部分とは。

「たとえば、ジョン・ウエスレーの弟のチャールズ・ウエスレーは、讃美歌などの音楽を一生懸命なさった方でした。だから、吹奏楽、聖歌隊、ジャズのビッグバンドみたいなものに力を入れたいと考えています」。

以前から、読書に関する活動も積極的に続けてきました。

「うちは、ビブリオバトル、知的書評合戦、デモンストレーション、読み語りなど、ブッククラブが元気で、地域の図書館ともつながりがあります。本を中心として盛り上げるつながっていくというのがあります」。



地域で暮していくには、防災、減災ということも不可欠では。

「うちには社会福祉学科もあることで、し、障害を持つている方々の避難シェルターとしての機能を果たせるように整備をしていこうと考えています」。

産業の発展にも新たなプランをお持ちだから。

「大村、諫早、島原全体を元気に活性化させていくための国際フューチャーセンターというものを、立ち上げていけたらいいと思っています。いろんな人が集まって、意見を交換して、実践していく組織体をめざしたいのではないかと。大学は、地域から要請されるニーズに対して応えないとだめだと思っています」。

一人ひとりと向き合い 意欲的な人間を育てて

地域の発展や研究は、既存のものからよりよい方向へと広がっていくものだから。

「さまざまな時代の流れの中で、僕は学生たちに、僕を踏み台にしろ、踏み超えていけといっています。それは、研究者としての部分だけではなく、人生そのものを超えていけということです。僕たち大学の教員を超えていくような人間を育てないと思っていないです」。

学長を超えていくのは、並外れた意欲が要求されることも難しいことかと。

「僕が学長としてできることは何かというと、学生たちが学ぶという意欲を持った時にしっかり応えられるような環境をつくることだと思います。興味があれば、人は学ぶものです。うちの先生方

たちに、目の前にいる学生たちと向き合っていて、大切に育てていくように伝えていきます。大切に育てるといえるのは、必ずしも勉強だけではなく、人間としてもです。そうした教育がうちの根幹にある部分ではないかと思っています」。

小規模大学だからこそ叶えられることかと。

「一人ひとりの学生と向き合うチャンスが多いのと、時間もとりやすい、そこにもうちのメリットがあります」。

一人ひとりに目を向けて、一人ひとりを育てていく、とても贅沢な環境です。

「彼らが長崎ウエスレヤン大学で4年間すごして、後に振り返った時に最高の4年間だったと思えるようなものを我々が提供できれば、それがいちばんの理想型ではないでしょうか」。

興味深い話が次から次に飛び出してくる学長は、自らワーカホリックというほど、仕事が好きで、人が好きな方です。これからも熱く深い愛を学生に、地域に、注ぎ続けてください。



先輩、こんにちは！

「What shall I do now ? 自分は何をすべきかを問い続けて」。

株式会社きよくとう 代表取締役社長
牧平 年廣(まきひら としひろ)さん

Profile

鎮西学院中学校、鎮西学院高等学校、西南学院大学卒業。運輸省の第四港湾局や米軍板付基地などでの勤務を経て、1964(昭和39)年福岡ペーパーランドリー企業組合設立、1967(昭和42)年企業組合極東化学ドライへ新築移転、1978(昭和53)年有限会社極東化学ドライへ組織変更、1980(昭和55)年株式会社きよくとう設立、ドライブスルー・クリーニングや100円クリーニングなど画期的なサービスで広く話題を集める。2002(平成14)年株式上場。

野球を楽しむ、多くを学ぶ

福岡に本社を置いて、九州はもとより、関東、関西、中国エリアで約7000軒のクリーニング店を展開し、約70億円の売り上げを計上する株式会社きよくとう。代表取締役社長である牧平年廣さんは、時代の流れをつかむ先見の明や消費者ニーズを的確に把握する分析力、さらには、行動力、決断力、勤勉さ、勝負強さなどを十二分に有する実業家の中の実業家です。起業から半世紀以上、幾多の荒波を乗り越え、危機を回避して、自社を上場企業へと成長させてきました。そうした実業家としての素養はどこで培われたのでしょうか。鎮西学院で過ごした日々が影響しているのでしょうか。「僕が鎮西学院に入学したのは、野球をするため。中学、高校の6年間続けたのは、野球が大好きだからです」。鎮西に牧平あり、と言われるほどの名選手だったとか。野球に燃えた牧平さんの青春時代です。「野球があつたから、今の僕があると思っています。勝つたり、負けたり、いろいろな経験が糧や目標になっていくわけです」。牧平さんの不屈の魂は、野球への情熱とともに育まれたに違いありません。

すばらしい言葉に出会って

今も鎮西学院で行われている礼拝。牧平さんは、讃美歌を歌うのが楽しくて参加していたそうです。でも、そこで人生の指針となる、すばらしい言葉との出会いがありました。「当時、僕はまだ14歳くらいでした。礼拝での千葉院長のお話で、*“Do it now”*という言葉を教え



会社の仲間で作ったチームで優勝!



バッターボックスに立つ若き日の凛々しい牧平さん



2002(平成14)年 晴れて株式上市



社長室にて



1964(昭和39)年 創業時の社屋



(株)きょうとう本社(福岡市博多区)

牧平さんは、米軍板付基地で働いていた経験から、ビジネスの上で徹底していることがあります。それは、5W1H。いつ(When)、どこで(Where)、だれが(Who)、なにを(What)、なぜ(Why)、どのように(How)という6つの要素をまとめた、情報伝達のポイントです。作業を効率的に運ぶために5W1Hは不可欠だといいます。「仕事とは、与えられたことに本気で取り組みということです。その中で、困難なこと、あるいはブレイクスルーできること、わかってくるん

本気で挑み、奇跡を起こす

ていただいたんです。日本の親善大使がアメリカを訪れた時に、自動車会社フォード・モーターの社長がおっしゃったらしいのですが、その時の通訳が千葉院長だったそうです。僕は、"Do it now"という言葉を大事にして生きていこうと思って、今日までしました。"Do it now"、その言葉どおりに自らを律して実行する牧平さんは、類い希な精神力の持ち主です。



鎮西学院校友会福岡支部長 重松史郎さんと

います。聖歌の中に『数えてみよ主の恵み』という歌詞があるんですが、やっぱり数えてみると、あの時のあの人、あの時のあの人と思ひ出されます。今こうして生かされていることに感謝しています。牧平さんは、鎮西スピリッツをととても大切にしています。「僕は、鎮西学院のOB、OGの皆さんに、自分は鎮西学院を卒業したんだというプライドを忘れないでほしいと思っています」。牧平さんの仕事、人生そのものには、鎮西学院のスクールモットーである、神を敬い人を愛するというのが敬天愛人の精神が息づいています。

です」。仕事に対する信念を貫き、常にさらなる躍進へとつなげてきた牧平さん。本気で取り組みれば奇跡も起こりうると語ります。

ずっと「敬天愛人」の精神で

「自分とはとんでもない男なんです。だけど、人生というのは、節目、節目にきちんと、プラスの選択をするように導いてくれる人が待つてくれるもの、あるいは支えてくれるもの。だから、僕は、そういう人たちのおかげで今があるんだと思っています。聖歌の中に『数えてみよ主の恵み』という歌詞があるんですが、やっぱり数えてみると、あの時のあの人、あの時のあの人と思ひ出されます。今こうして生かされていることに感謝しています。牧平さんは、鎮西スピリッツをととても大切にしています。「僕は、鎮西学院のOB、OGの皆さんに、自分は鎮西学院を卒業したんだというプライドを忘れないでほしいと思っています」。牧平さんの仕事、人生そのものには、鎮西学院のスクールモットーである、神を敬い人を愛するというのが敬天愛人の精神が息づいています。

鎮西学院の頑張りは、
生徒、学生、卒業生、教師、
誰にとってもうれしいもの
です。鎮西学院の生徒や
学生の活躍にスポットを
あててご紹介します。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
2016(平成28)年度ロータリー米山記念奨学生

ド ティ フェ フウンさん

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部・経済政策学科 4年

図書館で勉強することも多いフウンさん

「公益財団法人ロータリー 米山記念奨学会」とは

成績優秀な留学生在が受けられる奨学金制度です。
全国のロータリアンが支援

米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して、世界に“平和日本”の理解を促す願いを込めて発足されました。学問的、技術的指導者の養成とともに、平和を求め日本との“懸け橋”となる人を支援することを願い、1952年に東京ロータリークラブで構想が立てられたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省(文部科学省)の許可を得て財団法人ロータリー米山記念奨学金となりました。新公益法人制度の施行に伴い、2012年1月4日をもって公益財団法人へ移項しました。

奨学生に求められること

ロータリー米山記念奨学事業の使命は、留学生の優れた学業の達成を支援すると同時に、カウンセラーや世話クラブとの交流を通じ、ロータリー精神を学び、国際理解を深め日本と母国との懸け橋となるなど国際親善に尽くす人材を育てることにあります。そのために求められる米山奨学生の資質は学業、異文化、異文化理解、コミュニケーション能力における熱意や優秀性です。



ロータリークラブ例会で
卓話をするフウンさん

大好きな日本で学ぶ道を選択

知的な笑顔がキラキラと輝くドティ・フエフンさんは、ベトナムからの留学生。経済政策学科の4年生です。幼い頃に、ベトナムで放送されていた日本のテレビドラマで日本の暮らしや風景などを見て、日本が好きになり関心が深まっていたそうです。「ベトナムで使われている日本製品。たとえば、テレビや冷蔵庫、バイク、車などは、品質が良くて、丈夫で長く使えるといわれています。相撲、桜、刺身、日本には有名なものが多いですね。それに、日本といえば、日出ずる国の富士山。日本は、本当にいい国だと思います」と、流暢な日本語で話すフンさん。日本への留学は、先に来日していた1歳上のお兄さんから、自分が通っている日本語学校や大学はとても素晴らしいという話を聞いて、自分も留学をすることにしたそうです。当時、フンさんは、看護師をめざして地元の大学に通っていましたが、将来のことを考えて長崎ウエスレヤン大学に来ることを選択しました。

将来を見据えてまっすぐに

フンさんが経済政策学科を選んだのは、日本が戦後すぐに復興し、1970年代には高度経済成長の時代に入り発展してきたことに興味を抱き、その秘密

を学びたいという思いがあったからだそうです。「経済という分野は、とても幅広いですね。大学では、日本の企業に就職する時に役立つことをたくさん学び、簿記や経理なども覚えめました」。目標に向かって努力を重ねるフンさん。卒論のテーマは、日本とベトナムにおける環境問題と政策。日本の成功例をベトナムに紹介したいと思っているそうです。「長崎ウエスレヤン大学には、ベトナム人以外にも、中国、韓国、ブラジル、ロシアの学生がいて国際的。とても勉強しやすい環境です。学生支援課が、勉強面、生活面ともに留学生を支えてくれるので安心して勉強に集中することができると、あたたかい雰囲気です」。恵まれた環境としっかりとしたサ

ポートで、大学生活を充実させることができたというフンさんです。

日本とアジアの懸け橋として

大学からの推薦でロータリー米山記念奨学生に応募して、見事に合格したフンさん。現在、長崎出島ロータリークラブに所属して、毎月1回例会に出席して、いろいろなところに向いて卓話をするなどして、ベトナムのことを伝え、長崎のことを知り、文化的な国際交流を図っています。

就職もロータリークラブでのまじめな取り組みが認められて企業側からオファーがあり、理想的な仕事に就けるようになりました。「その企業は、ベトナムの木材の輸入やベトナムの研修生の受け入れなども行っていて、将来的にはアジア各国との取り引きも手掛ける予定です。日本とベトナム、アジアとの懸け橋になって、活躍したいと思っています」。大学やロータリークラブの活動を通して経験した交流が仕事に役立ち、将来につながっていくことでしょう。日本とアジアの懸け橋、パイオニアをめざすフンさんの希望あふれる船出はもうすぐです。



キャンパスを散歩して、さわやかな自然を満喫!



(左) 栗林理事長

(右) 長崎出島 RC 山田佑子カウンセラー





「創立140年を目指して 新しい歩みが始まる2017年」

創立135周年を無事に終え、140年に向かつての新しい歩みが2017年から始まります。鎮西学院に相応しく遅く知的な足取りで着実に邁進して行きたいと思っております。

2017年度は、マルコによる福音書 9 章50節「塩はよいものである。だが、塩に塩気がなくなれば、あなたがたは、何によって塩に味をつけるのか。自分自身の内に塩を持ちなさい。互に平和に過ごしなさい。」を目標聖句といたしました。とくに、「自分自身の内に塩を持ちなさい。」という聖句に力点を置きたいと考えております。自分自身に「塩」を持つ園児・生徒・学生たちを育てたいと思っております。

幼稚園は、行政と連携した新しい制度が始まりますが、2017年度は、この制度に柔軟に対応するための準備の年となります。キリスト教保育を続けて62年の伝統に相応しい幼稚園として自信を持って対応して参ります。

高等学校は、男女とも進学とスポーツがいずれも華々しい成果を誇る文武両道の学校へと著しい成長を遂げています。2017年度は、更に、就職についても大いなる成果を上げるために普通科に公務員コースが設置されます。

大学は、教員・公務員への就職が好調で、「就職のウエスレヤン」として名を馳せております。2017年度は、中国を始め東アジアの諸大学の連携が強化され、交換留学生たちが増えてくることが予想されております。クラブ活動では、ピック・バンドなどの演奏活動が盛んになっております。野球・バレー・サッカーなどのスポーツ・クラブも強化されます。

百周年記念館に待望の「鎮西学院平和歴史資料室(仮称)」がいよいよ開館することになりました。鎮西学院の多くの諸先輩が長年その設置を望まれていた資料館です。諸先輩から、多くの貴重な資料や写真、原爆の被災資料が寄せられています。2017年の早い時期にオープンが予定されております。ご期待下さい。

少子高齢化が急速に進むなかで、鎮西学院は、2017年度を雄々しく遅く乗り切って行く所存でおります。変わらぬご支援をお願い申し上げます。



鎮西学院平和歴史資料室(仮称)完成予想図

鎮西学院 学院長 森 泰一郎

熊本地震復興支援チャリティーイベント

学校法人鎮西学院Presents

池上彰氏 講演会

開催決定!!

池上彰のニュースから
世界を読み解く

2017年

6月10日 土 入場無料
14:00~15:30
(13:00より開場)

諫早文化会館 大ホール

〒854-0061 長崎県諫早市宇都町9-2 TEL.0957-25-1500

※駐車場に限りがありますので、公共の交通機関を御利用ください。

ジャーナリスト 池上 彰 (いけがみ あきら)

1950年長野県生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。NHK入局。松江、呉での勤務を経て、東京の社会部。11年間「週刊こどもニュース」に出演。2005年にNHKを退局。現在はフリージャーナリストとして新聞、雑誌、テレビなど多方面で活躍する傍ら、名城大学、東京工業大学、立教大学などで教鞭をとる。主な著書に「伝える力」(PHP研究所)、「書く力」(朝日新書)、「おとなの教養」(NHK出版新書)など。

応募方法は後日お知らせいたします。

【主催】

学校法人

鎮西学院

◎鎮西学院幼稚園

◎鎮西学院高等学校

◎長崎ウエスレヤン大学

・活字文化推進会議

【主管】読売新聞社

【後援】諫早市・諫早北ロータリークラブ

【お問い合わせ】学院広報戦略室 / TEL.0957-26-8200 (代表)

〒854-0082 長崎県諫早市西栄田町1212-1

E-mail koho@wesleyan.ac.jp

学校法人 鎮西学院 | 検索



鎮西学院幼稚園

本園の
最新情報をHPに
掲載しています。

鎮西学院幼稚園

検索



お芋、元気に育ってるね!



園長 西村 暢彦

みどりのなかで
わくわく!どきどき!

●園内研修

幼稚園では、教育の質の向上のため、テーマを決めて「職員研修」を実施しています。現在は「学院の環境をもっと知り、もっと楽しもう」というテーマで取り組んでいます。

活動の場を幼稚園の敷地内に限らず、自然豊かな広々とした学院の環境を最大限に活用しようというねらいです。

職員研修は実践で確かめられます。その内容は、園児にとつて「わくわく!どきどき!」であつて欲しいと願っています。さらに、確かめられた実践を園児の発達段階に合わせて組み立てた「カリキュラム」にしています。

○季節さがし…春夏秋冬の植物や生き物を見つけます。

小さなアリンコも、ダンゴムシも、バッタ、カマキリ、トンボも、みんな友だちです。

春の梅、桜の美しい花にも、秋の紅葉、枯れ葉にも触れる活動をします。

○梅ジュース…木の実でいろいろ遊びます。ドングリで工作もします。春に梅の実で「梅シロップ」を作り、夏に梅ジュースを美味しくいただきます。

○学院内遠足…日頃はクラスごとに散策しますが、「学院内遠足」として園児みんなで学院内を歩きます。高校の野球グラウンドの外野はとっても広い芝生広場で、園児の遠足として学院敷地は十分に広いのです。

○芋苗植え・芋ほり…高校敷地に、芋畑を開墾させていただいて4年目。今年もたくさん収穫できました。

園児が、このような恵まれた環境で活動できることに、心から感謝しています。



梅の実、いっぱい落としてね!



バッタ捕まえたよ!



学院内のつながりを大切にして

主 原田 裕子

「学院内は子どもたちの遊び場。高校の野球グラウンドでは、走り回って鬼ごっこ、どんぐり拾い、土手登り……。大学のキャンパスでは、かくれんぼや木登り……。高校の寮前の広場でお弁当を広げ、学院内遠足。恵まれた環境の中でのびのびと遊ぶ子ども達。そんな日々の中で心温まる出来事もよくあります。」

先日は、高校野球グラウンドに散歩に行ったクラスのある子どもが、ポケットに入れていたティッシュを落として帰って来ようでした。それを高校野球部のお兄さんが拾って、高校事務室に届けてくれました。

小さなティッシュですから、見落としそのままにしておかれても仕方ないようなことですが、「幼稚園の子どもかも知れないから。」と言って届けてくれたそうです。

高校の事務職員もティッシュと一緒



園周辺を掃除してくれる野球部



点灯式の日に
聖歌隊のお兄さんお姉さんと

に、その野球部の生徒の誠実さを伝えてくれました。

野球部と言えば、厳しい練習と勉強の両立で多忙な毎日の中、朝から大勢で幼稚園の周りを掃除してくれます。そして元氣な礼儀正しい挨拶をしてくれ、私達職員も元氣をもらいます。

このようなことはうちの園では日常的なことですが、他園にはないとても貴重な有難いことです。高校生にとっても学院内で子ども達の姿を見かけ言葉を交わしたり、行事などで関わりを持つたりすることは何かに感じるものがあると思われまふ。

両者共に学院でつながっていることに喜びを持ち、人への思いやりや感謝の気持ちを忘れない人に育つて欲しいと願っています。

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」

テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 5章16節～18節

最初の会議で、今年度のテーマを決める話し合いをした際に出てきたのは、収益の一部を熊本地震の被災地へ寄付してはどうかという提案でした。昨年4月の地震では、大きな被害こそなかったものの諫早でも強い揺れを感じました。私たちはすぐに日常生活に戻れたけれども、熊本には家に戻れない人がたくさんいて、幼稚園が壊れたり、いつも遊んでいたおもちゃがなくなったりした子どもがいるのではないか。そんな立場の人たちに思いを寄せ、平穩な日常に感謝する、そのようなテーマにじっくりくる聖句はないでしょうかと主任の原田先生に相談したところ「喜びなさい 祈りなさい すべての事に感謝しなさい (テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 5章16～18節)」を教えて頂きました。

テーマが決まると、葉っぱの形をした色画用紙に日常への感謝のメッセージを園児や保護者に書いてもらい、ひもでつなげて、イベント当日園の軒下にかざりました。家族、お友達、先生、バスの運転手さん、普段はなかなか言う機会のない「ありがとう」が連なった感謝のガーランドは、見ているだけで心が温かくなる



第4回ひかりっこ あきまつりを終えて

イベント企画委員会
そら組代表

中尾千恵子

ものでした。前日の夜遅くまで雨が降っていましたが、当日は素晴らしい晴天に恵まれ、お店やゲームは大盛況で終えることができました。前年から始まったハロウィンの仮装をした子どもたちの姿も、とてもかわいく印象的でした。

イベントの最後には、年長のそら組さんが手話で「世界中の子どもたちが」を歌いました。

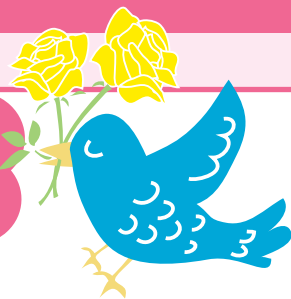
担任の荒木先生が「世の中にはいろいろな人がいて、世界に目を向けるきっかけ」として手話を教え、子どもたちは「年間いろいろな言葉や歌を覚えてきました。イベントのテーマにぴったりと

思い、最後に歌ってもらったことをお願いしました。子どもたちにとって、このテーマの意味が今はわからなくても、いつか大人になって楽しかった思い出と共に心の中に残っていることを願っています。

最後になりましたが、長崎ウエスレヤン大学からのボランティアをはじめ、学院内外、そして園の先生、保護者、全ての方のご協力のもとイベントを成功させることができました。本当にありがとうございました。

紹

介



ひかり組

(年少児)

担任／橋本千亜紀

一年の中でいちばん長い二学期は大きな行事が盛り沢山でしたが、初めてのこともクラスの友だちが一緒にいることで、心強く、安心して挑戦することができたひかり組の子どもたちです。

運動会では、のびのびと体を動かす楽しさや友だちと競い合う面白さを感じることができました。また、年上のお兄ちゃん・お姉ちゃんを憧れのまなざしで見つめる姿が印象的でした。

先月のクリスマス礼拝・祝会では、大好きな絵本の「三びきのやぎのらがらどん」のオペレッタ劇を披露しました。初めはキョトンとしていた子どもたちが日に日に動きを覚え、少しずつ表情豊かにのびのびと表現できるようになりました。子どもたちが集団の中で学ぶことは、大きな成長へと繋がっているのだと日々実感しています。

最近では、「仲間に入れてー」や「一緒に○○しようー」という言葉がクラスの中で多く飛び交っており、友だちとの関わりを心から楽しいと感じていることがよくわかります。友だちのおしゃべりや食事、遊び：隣に大好きな友だちがいるだけで、満面の笑みを浮かべています。

幼児期の社会の中でのこの出会いを大切に、これからも友だちと笑い合ったり、時にはケンカもしながら、さらに仲を深め、共に成長していつてほしいと思います。



ほし組

(年少児)

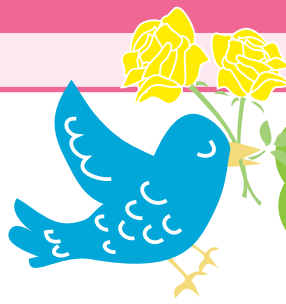
担任／宮前 寧々

入園して早くも9か月が過ぎました。4月当初は、男の子4名、女の子4名合計8名でのスタートでしたが、12月現在では年少児が男の子1名、女の子3名合計4名増えました。

年少の子どもたちは、小さいお友だちを気遣い優しく手を取りながら教えてあげたり、一緒に遊ぶなど、すっかりお兄さんお姉さんになってきました。その姿を見ている年少々の子どもたちも真似をしながら遊んだり、話をしたりする姿がとても微笑ましいです。新しく出会ったお友だちとも、今ではコミュニケーションを沢山取りながら、色々な遊びを一緒に共有し合い、自分の考えや気持ちを伝え合いながら発展させて遊んでいます。戸外遊びの時は、お友だちと手を繋いで追いかけて遊んだり、好きな遊びを見つけのびのびと楽しく過ごしています。

そんなほし組の子どもたちには、色々な初めての行事が多くありました。中でも、クリスマス祝会に向けては、楽器と歌、ダンスの練習を頑張りました。楽器では、リズムを取ることから始め歌と別々にしながら練習しました。リズムに合わせて楽器を一生懸命鳴らしていました。ダンス練習では、曲に合わせても楽しそうにウキウキ、ワクワクしながら体を動かしていました。ダンスを覚えるのも早く、歌まで歌いながら踊っていました。

月日が過ぎていくのは早いですが、可愛い子どもたちと残り少ない園生活を元氣いっぱい思い出を沢山作っていききたいです。



にじ組

(年中児)

担任／江頭 弘美

あつという間に1学期、2学期が終わり、3学期になりました。4月当初は新しい環境への不安から泣いている子もいましたが、もうすっかりお兄さんお姉さんです。

1学期に挨拶や返事ができなかった子は、2学期になると少しずつできるようになり、徐々に感情表現も豊かになっていきました。また、どの子も精神的な成長が見られ、年少児を可愛がったり、1つ年上ということを意識し、自信を持って行動できるようになりました。

もちろん、年長児との関わりにおいても色々なことを考え、学んでいるようで、年長への憧れや期待も少しずつ高まってきています。

そんなにじ組の子とも達ですが、1学期、2学期と行事を通しての経験も、子ども達にとっては貴重な成長の糧となりました。

まず印象に残っているのは運動会です。パラバルーンの演技は技を決める時に、一人ひとりのタイミングを合わせることもとても重要です。自分のタイミングが周りと合った時の感覚は、たまらなく気持ちがいいもので、技がきれいに成功すると、子ども達は大喜びでした。本番では練習の成果を思い切り発揮することができました。

次に印象に残っているのはクリスマス祝会です。「こびととくつや」の劇を発表した子ども達は、ここでも立派にやり遂げることができました。役ごとのチームワークが発揮され、本番を楽しんでいるかのような子ども達でした。

友達と一緒に頑張ることは、一人ひとりの大きな達成感と自信に繋がっていきます。年中クラスとして過ごす残りの時間も、これまで一緒に頑張ってきた仲間を大切にしながら、毎日楽しく、心穏やかに過ごしてほしいと思います。



そら組

(年長児)

担任／荒木 智子

憧れの年長組になって、早いものでもう3学期を迎えようとしています。振り返ってみると、進級したことが嬉しく「そら組のお兄さん、お姉さん」と呼ばれるのが何となく、くすぐったかった4月でした。

でも、小さなお友達のお世話をしたり、様々な行事を経験するたびに、幼稚園最年長クラスにふさわしく、頼れる子ども達に成長しました。

特に10月の運動会では『みんなで心を1つに！』をクラス目標に掲げ、励まし合いながら毎日暑い中、様々な競技の練習に取り組みました。運動会当日は練習以上に立派にやり遂げ、担任にはもちろん、見ている方々に大きな感動を与えてくれました。

また12月のクリスマスではページェント（降誕劇）を演じ、高校生や沢山の保護者の方々にクリスマスの意味を伝える大切な役目をしっかりと果たしました。

クラスとしても一段と仲間意識が強くなり、団結力が芽生え、友達を思いやる心が自然に育ったことは、とても嬉しく思います。

こんなに頼もしく優しい子ども達と過ごす充実した時間も、残りわずかとなりました。そう考えるととても淋しいですが、小学校入学を控え、不安と喜びが入り混じった複雑な心境の子とも達一人ひとりとしっかりと向き合い、安心して幼稚園を卒園できるようにサポートしていきたいと思っています。

そして何よりも、子ども達には卒園してもずっと神さまが守って下さることを伝え、鎮西学院幼稚園で過ごした日々を誇りと自信を持って、これからも大きく歩んでほしいと願います。

「鎮西学院高等学校は、今」

校長

川村 正徳

2学期の学校行事を終えて

①文化祭(ハレルヤ祭)

8月27日に2学期最初の行事である文化祭(ハレルヤ祭)を実施しました。今年のハレルヤ祭の生徒たちが選んだテーマは「盛夏」です。青臭さはあっても、熱っぽく力強く生きていきたいという思いが込められた若者らしいテーマを掲げ、各クラス・クラブが取り組んできた成果を発表しました。午後の講堂ステージでは、生徒会が主体となつて企画したミュージカルや若手教員によるパフォーマンスが披露され、全校で大いに盛り上がりつて終了しました。

②体育祭

台風接近のため、9月3日に予定していた体育祭を6日に実施しました。今年は、本学院創立135周年の節目の年でもあります。長崎から諫早に移転して70年目にあたる年でもあります。本校グラウンドは当時の学生や職員がスコップを手に持ち、モッコで土を運んで整備したものです。『被爆71年のこの年、私たちが恵まれた環境で体育祭ができるのは、多くの先輩方の犠牲と努力のお蔭であることを忘れないで今日一日を頑張ろう』の掛け声のもと、終始高校生らしい若さあふれる競技と個性豊かなパフォーマンスが披露

され、生徒及び保護者の方や教職員が一体となった素晴らしい一日を過ごすことができました。

③学院創立135周年記念式典

10月7日創立135周年記念礼拝を諫早文化会館において説教者として福岡女学院院長 寺園喜基先生をお招きして行なわれ、その後本学院教育顧問の姜尚中先生による記念講演が行われました。学院創立135年という長い歴史の中には、火災・被ばくといった大きな苦難に直面することが多かったことですが、両先生の説教や講演を通じて、鎮西学院の存在意義をあらためて考える機会となりました。

④上海華東師範大付属双語学校との姉妹校提携

11月4日長崎市と上海市が友好交流関係を結んでいる縁で、中国・上海市の華東師範大付属双語学校との姉妹校提携を締結しました。華東師範大付属双語学校は、2015年に創立された、国際的に通用する人材育成を目指し、幼稚園から高校までの6000人が学んでいる総合学園です。今後、教職員や生徒間の交流を進めていきたいと考えています。

⑤諫早市民クリスマスコンサート・学校クリスマス

12月10日には諫早文化会館で、諫早市民の皆様に日頃の感謝を込めて、鎮西学院創立135周年記念「諫早市民クリスマスコンサート2016」が行われました。今年は特別ゲストとして、盲目のテノール歌手 新垣 勉師をお招きしました。会衆一同師の美しい歌声に魅了され、心豊かなひと時を過ごすことができました。また本学院鎮西学院幼稚園、鎮西学院高等学校、長崎ウエスレヤン大学の園児・生徒・学生が出演し、SCK長崎TEC吹奏楽クラブにも友情出演していただき、すばらしいクリスマスコンサートを行うことができました。

また、12月20日には、耐震化工事に合わせてリニューアルした本校講堂において学校クリスマスが行われ、恒例となっている全校生によるハレルヤコーラスを歌いあげ、クリスマス喜びを味わいました。

クラブ活動

昨年11月2日雲仙小浜マラソンコースで行われた、第68回県高校駅伝大会において、本校男子陸上部は、17年ぶり13度目の優勝を果たし、創部50周年の記念すべき年に頂点に立つことができました。第1区から最終区まで一度もトップを譲ることなく、すきをつなげた見事な走りに、歓喜の輪が、





笑顔と涙で満たされました。12月25日に京都で行われた全国大会では35位と十分力を発揮できませんでした。来年度も全国出場を目指して努力してくれることを期待しています。全国大会に際しましては、多くの皆様の暖かいご支援をいただき、まことにありがとうございます。

女子サッカー部は2016年度長崎県公式大会は無敗を達成し、九州高校総体では準優勝を果たしました。部員は来年度の全国大会出場を目指し、日々の練習に励んでいます。

バレー部男子が春高バレー長崎県大会で昨年同様決勝で強豪大村工業高に挑みましたが、健闘むなしく準優勝という結果となりました。なお、全国私学バレーボール佐賀・長崎予選で優勝を果たし、3月21日から東京町田市を中心に行われる全国私学バレーボール大会に出場することが決定しております。

長崎県高総体新人戦において卓球女子団体・男子団体が久々のアベック優勝を果たしました。また、体操女子も優勝することができ、来年度の高校総体に期待が持てる結果を残してくれました。

文化部では、吹奏楽部が長崎県吹奏楽コンクールで22年連続金賞を受賞したものの、残念ながら九州大会出場を果たすことができませんでした。九州マーチングコンテスト長崎県大会で金賞を受賞し、九州大会に出場を果たすことができました。

進路実績

12月20日現在で、九州工業大学2名、熊本大学、鹿児島大学、防衛大学校（一次）4名、中央大学、明治学院大学2名、西南学院大学2名、福岡大学、長崎ウエスレヤン大学32名、青山学院短期大学等の合格が内定しております。

公務員については、諫早市役所、海上保安学校、長崎県警察、大分市消防、対馬市消防2名、一般曹候補生7名、自衛官候補生18名の内定が決定しています。

なお、一般企業就職については、6年連続の年内内定率100%を達成することができました。

2015年度 主な進路実績

●国公立大学31名

九州大学、横浜国立大学、広島大学、長崎大学7名、熊本大学3名、福岡教育大学、山口大学、茨城大学、長崎県立大学4名、神戸外国語大学、高知県立大学、北九州大学2名、尾道市立大学 など

●私立大学138名

国際基督教大学（ICU）、北里大学（獣医）、明治大学、青山学院大学、関西学院大学、明治学院大学、順天堂大学、山梨学院大学、立命館大学、近畿大学2名、西南学院大学5名、福岡大学5名、九州産業大学18名、長崎ウエスレヤン大学23名 など

●公務員・自衛官44名

警視庁、自衛官航空学生、国家一般職、刑務官、長崎県警2名、大阪府警2名、神奈川県警3名
一般曹候補生5名、自衛官候補生28名



2016年 8月～11月

各部活動戦績

生徒会主任 飯 盛 敬太郎



陸上部

【男子17年ぶりの全国大会へ！】

長崎県高校総合体育大会 駅伝競技

男子 優勝(17年ぶり13回目)

区間賞

1区 3B 小林 憲太
3区 3D 江口 大雅
5区 3C 寺本 大希
7区 3K 辻 将夢

女子 6位入賞

九州高等学校総合体育大会 駅伝競技

男子 8位入賞

全国高等学校駅伝競走大会(於:京都市)

男子 35位

長崎県高等学校新人大会

男子5000m 2位 1B 富永 裕憂
3位 1D 森本 翔太

第一回南さつま市長杯

九州高校選抜駅伝競走大会

男子 優勝

区間賞

1区 3B 小林 憲太
2区 3K 西川 昇吾

卓球部

【男女アベック優勝！6冠達成！】

長崎県高等学校新人大会 卓球競技

男子

団体 優勝

シングルス

優勝 2A 馬渡 元樹
2位 2C 針尾 恭輔
3位 1E I 平島 希望

ダブルス

優勝 2A 馬渡元樹・2C 針尾恭輔

2位 1A 田口健世・1E II 増山絢也

女子

団体 優勝

シングルス

優勝 2D 李 楠

2位 1E II 富田 真穂

ダブルス

優勝 2D 李楠・1E II 富田真穂

※馬渡君、李さんは、三冠王！

全日本卓球選手権大会長崎県予選

男子

ジュニアシングルス

優勝 2C 針尾 恭輔

2位 2A 馬渡 元樹

3位 1A 田口 健世

一般シングルス

3位 2A 馬渡 元樹

一般ダブルス

優勝 坪口道和先生ペア

3位 3A 田口斗真・3D 松木准平

3位 2A 馬渡元樹・2C 針尾恭輔

混合ダブルス

優勝 1E II 富田真穂ペア

3位 3B 福田瑛二・3C 平松友架

女子

ジュニアシングルス

優勝 1E II 富田 真穂

一般シングルス

優勝 1E II 富田 真穂

※1E II 富田さん、2A 馬渡君、2C 針尾

君、1A 田口君は全国大会へ出場

(於:東京体育館 1/16～1/22)

体操部

【3年ぶりに優勝旗奪還!!】

長崎県高等学校新人大会 体操競技

女子団体 優勝 男子団体 2位

女子個人

2位 1B 中原 慧香

3位 1C 大谷 萌衣

男子個人

2位 2A 山口京太郎

女子バスケットボール部

【IBA杯初優勝!】

IBA杯 優勝

中地区バスケットボール大会 Aリーグ昇格

男子バレーボール部

島原市協会杯 優勝

長崎県協会杯 2位

全九州私立バレーボール選手権 準優勝

中地区高等学校新人大会 優勝

春高バレーボール大会長崎予選 準優勝

国民体育大会 少年男子 7位入賞

(3C 梅本鈴太郎出場)

女子サッカー部

長崎県高等学校女子サッカー選手権 優勝

(九州大会出場)

長崎県女子サッカー選手権大会 優勝

(九州大会出場)

吹奏楽部

長崎県マーチングコンテスト 金賞

九州マーチングコンテスト 金賞

長崎県アンサンブルコンテスト

金管八重奏 金賞

書道部

九州高文連書道展

優秀賞 3C 森 結香

高野山読書大会

特別賞

3B 小川 一帆(南山賞)

3C 中島 鶴絵(推薦)

3D 高尾 恵美

特選

3A 山口 京夏

3C 森 結香

3D 岩永 宇宙

3D 柴田 柚菜

※他にも沢山のクラブが活躍し、入賞しております。詳しくは、鎮西学院高等学校 HP トピックより参照ください。





鎮西学院諫早市民クリスマスコンサート2016

今や諫早の冬の風物詩になりつつある鎮西学院諫早市民クリスマスコンサートが、12月10日（土）に盛大に行われた。例年に倣い、一部は「礼拝」、二部は「祝会」の二部構成で行われた。一部の礼拝では、オール鎮西学院が参加し、吹奏楽部の演奏によるファンファーレに続き、一同で讃美歌158番を讃美した。総宗教主事の祈祷の後、大学生の聖書朗読と、高等学校コーラス部の讃美歌斉唱を交互に行い、御言葉と讃美のコントラストを楽しみ、その間に幼稚園児が舞台に立ち、クレッシュ（イエスの誕生の場面を人形等を用いて表したものを）を再現。目で見るとイエスのご降誕を演出した。園児の讃美の後、讃美歌112番を讃美、幼稚園児の祈祷を行い、吹奏楽部の演奏による後奏をもって一部は終了した。

二部の祝会では、幼稚園児のハンドベルの演奏や手話を交えた合唱、続いて SCK 長崎 TEC 吹奏楽部と長崎ウエスレヤン大学ウエスレヤンジャズアンサンブルのジョイントによる演奏、そして高等学校吹奏楽部による演奏が行われ、会場をクリスマスモードへといざなってくれた。その後メインイベントとして新垣勉師のスペシャルライブが行われた。新垣師は全盲のテノール歌手として世に知られ、日本のみならず世界で活躍されており、メディアで注目されておられるだけでなく、その生き様は中学2年生の英語の教科書にも教材として採用されており、日本を代表するテノール歌手である。その清らかな歌の聲は聴衆の心を和ませるものであったが、特に、自身が伝道者を志したこともあり、歌間に語られたメッセージは、クリスマスにふさわしいものであり、さながら伝道集会のようでもあった。プロを招いてのコンサートは、初めての企画ではあったが、創立135年の記念のイベントとして相応しいものであり、会場からは割れんばかりの拍手をもって閉式した。

今回も昨年に引き続き、司会に高校卒業生の芳野裕美さん、手話通訳者に大学卒業生の谷川尚美さんを迎え、鎮西学院諫早市民クリスマスコンサートを実施できたこともクリスマスの喜びの一つであろう。

最後になったが、コンサート終了後に来場者から「今日は母と娘が参加するので楽しみに来ました」との言葉を頂いた。祖母と孫娘が同じ舞台に立ってクリスマスを喜ぶことが出来るのも、諫早市民クリスマスコンサートの醍醐味ではなかろうか。このような地域に根差した活動を学院が率先しておこなっていくことも、神様から与えられた使命であることを再認識したコンサートであった。

鎮西学院総宗教主事 鐵 口 宗 久



新たな伝統へ

九州1区小林→2区西川(長崎新聞提供)



1区小林スタート地点

待ちに待った瞬間が訪れた。晴天の11月2日、雲仙小浜マラソンコースで開催された第68回長崎県高校駅伝大会において、男子陸上部が2時間10分38秒で17年ぶり13回目の優勝を飾った。1999年の第50回大会の優勝以降、何度となく優勝争いを演じたものの準優勝が12回、3位2回、4位2回と続き、なかなか頂点に立てなかった。レースは1区小林憲太が区間賞で2位に10秒差をつけ好スタート。右手に書いた「入江先生を頂点へ」の文字が仲間を奮い立たせる。続く2区の阿比留 魁が区間2位の走り、15秒差を持つ3区主将の江口大雅につなぐ。ペースのつかみづらい単独走であったが圧巻の走り、区間賞、2位との差を1分1秒に広げた。優勝の可能性が広がる中、その後は4区平山寛人の区間2位、5区寺本大希の区間賞、6区富永裕慶の区間2位で中継した。そして最終7区、辻 将夢が1区から一度も首位を譲ることなくつないだタスキを胸に入江初舟監督の待つゴール地点を目指す。昨年優勝を逃した悔しさか



県大会2区阿比留→3区江口(長崎新聞提供)



全国3区江口→4区阿比留(長崎新聞提供)



4区平山



歓喜の監督胴上げ



7区アンカー辻



優勝メンバー(小浜町体育館)



開会式を終えて(西京極陸上競技場)

ら入江監督が選手に求め続けた「速さより強さ」。練習の細部にこだわる意識改革が徹底された。1区から7区まで一度も首位を譲ることなくつないだタスキ。多くの卒業生が駆けつけ声援を送る中、アンカー辻が爽やかな笑顔でゴールテープを切った。ゴール地点に立つ入江監督の穏やかな笑顔が印象的であった。今年は創立135周年、陸上部創部50年の節目の年でもあった。これまで12度にわたり鎮西学院を都大路へ導いた渡部 勇総監督にも安堵の表情が広がった。入江監督の監督としての全国大会出場は初めてになるが、自身は1993年の第44回の県大会で優勝し都大路を走った。監督曰く「都大路は今までの全ての苦労が吹き飛ぶ夢の舞台」。前回優勝の頃に生まれた選手とともに新たなステージでの活躍を期待したい。全国大会の目標は鎮西学院のこれまでの最高記録である2時間8分30秒を上回り10位台を目指すこと。まずは11月19日開催の全九州高校駅伝大会(雲仙小浜マラソコース)の上位進出が目標である。

第69回全九州高校駅伝大会が県予選と同じ雲仙小浜マラソコースで開催された。24度を超える気温と都大路に向けたスピードトレーニングで選手の疲労はあったが、

強豪校がひしめく中、1区小林が県大会とほぼ同タイムで流れをつくると、3区江口、5区富永、6区辻がいずれも区間5位の走りです上位をキープした。県大会では出場機会のなかった2区の西川昇吾と7区納所大樹の粘り強い走りで踏ん張り、レベルの高い九州勢の中にあつて出場した県勢では最上位の8位(2時間10分46秒)と健闘した。入江監督の「レースを組み立てることはできた」と手ごたえをつかむ一方、「課題も見えた」と約1か月後に迫る全国大会へ向け準備が進む。

高校陸上界の2016年を締めくくる第67回全国高校駅伝大会が、京都市西京極陸上競技場発着コースで開催された。万全の準備で17年ぶりに挑んだ全国大会も結果は35位。13回目の出場とはいえ選手は初出場。悔しい思いをした昨年から大きく成長した選手たち。部員26名が互いに切磋琢磨し挑んだ夢舞台。全国の壁は高くほろ苦さは残ったが、粘り強い走りは「強いチーム」を作り上げた。出場するための「行きたい場所」から「戦う場所」と決意を新たにした。新チームの目標は「連覇」。再び常勝鎮西学院の伝統を築く一歩を踏み出した。入江監督と選手たちの「戦う場所」への挑戦がスタートする。



表彰式

「長崎ウエスレヤン大学は、今」

新たな年を迎え、さらなる飛躍の年としてこの1年間を過ごしていきたいと考えています。これからも、本学の教育・研究に対し、ご理解・ご支援のほどをお願い申し上げます。

6月以降の動きとしては、「大学力」の向上のための経常費・施設費・設備費を一体として重点的に支援される文部科学省平成28年度私立大学改革総合支援事業に申請し、本学はタイプ1「教育の質的転換」、タイプ2「地域発展」、タイプ4「グローバル化」の3件で申請しすべて採択され、私立大学経常費補助金等が増額され教育環境がより充実したものとされます。また「成長分野における中核的専門的人材養成の戦略的推進事業」(観光分野)が今年度も文部科学省から委託され研究調査も4年目となり、12月に4月に調印した姉妹大学(AU+)を中心とした国際シンポジウムを開催しました。

学生たちのフィールドワークの場の確保やインターシップの研修機会などを地域との連携を図りながら進めています。今年度は、AU+の協定を結び中国・韓国・台湾・マレーシアの海外での実施もできるようにしました。特に、小学生を対象とした地域主

催の通学合宿にボランティア参加した学生に対して感謝状やお礼の手紙も頂きました。学生を中心として教職員も地域との関わりを深めています。

学園祭でもある\$2祭は、保護者会をはじめ地域の福祉団体などの参加もあり盛況に終わりました。併せて卒業生を対象とした4回目を迎える「ホームカミングデー」にも多くの短期大学・大学のOB・OGが集まってくれました。夕方からの懇親会には、多くのOB・OGに参加して頂きながら、教職員との楽しい交流の時間を持つことができました。

また、お気に入りの本の魅力を訴える知的書評合戦「ビブリオバトル」では、昨年に続き経済政策学科4年生の藤原礼武君が長崎大会で優勝し、首都決戦に出場しました。他にも、学生サポーターズの「ぶつく倶楽部」が御館山小学校での読み語りなど教育活動にも活動を広げています。

こうした教育・研究をさらに発展させ、地域から信頼される、地域になくてはならない大学づくりに邁進いたしますので、どうぞご支援頂きますよう、お願い申し上げます。

学長
佐藤 快信





短期大学・大学部ホームカミング

大学 第6回卒業生
濱崎 綾子

11月12日土曜日、恒例の「鎮西学院校友会短期大学・大学部ホームカミング」が行われました。1年に一度、母校に「ただいま」と帰るこの日は、今年もたくさんの方の校友の皆さんの「ただいま」を聞くことができました。第一部では、2\$祭と同時開催ということで、午前中から多くの校友の皆さんが訪れました。恩師に会いに来られたり、当時の友人と再会をしたりと、ただいまの理由は様々。中には、SNSのホームカミングのグループで知り合い、この日に顔を合わせるなんて人も。思い出話に花が咲き、賑やかな時間となりました。第二部ではホテルセンリュウへ場所を移し、留学生パフォーマンス等我が校らしいアットホームな雰囲気でした。恒例の長崎和牛や旅行券等の豪華景品だらけのビンゴ大会は、今年は抽選会の形で行われました。抽選会にすることで歓談の時間が増え、校友同士の親交もより深めることができました。もちろん、抽選会は大盛り上がりでした。他にもものもの青年団の皆さんとのんこのでは、出席者参加型で、みんなで一緒に踊りお皿の音がとても賑やかでした。こうした形でホームカミングを始めて今年で4回目です。毎年顔を出してく

れる方や初めて参加する方などいつも顔ぶれは様々です。どんな時でもどんな方にも我が校はいつも「おかえり」と温かく迎えてくれます。来年もまたたくさんの方々笑顔で「ただいま」と帰ってきてくれるのを待っています！



■卒業予定者**85名**（就職希望者67名 就職希望者以外18名）

■就職希望者内定率**59.7%**（内定者40名／就職希望者67名）

■学科別内定率 社会福祉学科**48.1%** 経済政策学科**76.9%** 外国語学科**50.0%**

■就職希望者以外**18名**（進学・留学9名 帰国・その他9名）

1 本学の就職内定率59.7%

前年同期比0.6ポイント減(2016年卒業生4月末現在94.2%)

文科省調査10月1日現在 全国112大学等抽出71.2%
(前年同期比4.7ポイント増)

長崎労働局統計11月末現在 長崎県内8大学75.4%
(前年同期比5.3ポイント増)

2 依然県内就職が多いが変化も

本学内定率(1月17日時点)は文科省調査(2016年10月1日時点)71.2%に比較すると11.5ポイント下回り、県内大学(11月末)75.4%(県内70.3%県外78.5%)との比較では15.7ポイント下回る。県内大学の県内就職に比較しても10.6ポイントの隔たりがある。県内大学の統計で県内就職と県外就職に8.2ポイントの開きがあるように従来より県外就職が好調。本学への求人件数も県内求人は全体の3割しかないが本学学生は県内就職希望が多い。上記本学内定者40名のうち県外勤務となるのは10名で、前年同期の3名からは大きく増加したのだが、大半が県内就職希望のため苦戦していることが分かる。

3 県外企業内定者は早期短期決戦

県外企業内定者は採用試験解禁の6月(経団連加盟企業)以前の5月に早々と内定獲得している。地元こだわらず県外就職をめざして早期に就職活動を開始した学生は早期に内定し、余裕をもってその後の学生生活を過ごすことができている。

4 内定先の変化

全体の内定率は現在のところ芳しくないが、内定先の内容は従来に比較して変化がみられる。前述した県外では愛知県警やKスカイ(空港サービス)、県内では長崎県やジャパネットホールディングス、長崎空港ビルディングなど比較的難易度の高い先の内定を得ている。いずれも早期から着手し、また遠隔地であっても臆せずインターンシップや採用試験に挑戦する学生が増えてきている。

5 学科別内定率の開きが大きい

一般に社会福祉を学んでも社会福祉業界に就職する学生は多くない。本学では社会福祉学科生の半数と多いほうだが、都市部の大学では1割程度と言われている。福祉業界の採用活動開始は業界で最も遅い。この動きに連動して本学社会福祉学科生の就職活動開始時期は遅くなりがち。このため冒頭のように1月現在の社会福祉学科の内定率が低くなっている。例年、卒業式間際に数値はほぼ均等になる。

以上





代表取締役社長 牧平年廣



マスコット
キャラクター
さらふわ
さあやちゃん

JASDAQ
平成 14 年上場



本社外観



研修会風景

オゾンクリーニングのきょくとう



街を走るラッピングバス



株式会社

きょくとう

代表取締役社長 牧平年廣

本社 / 〒812-0863 福岡市博多区金の隈 1 丁目 28 番 53 号

TEL (092) 503-0050 <http://www.k-cleaning.jp/>

営業所 / 福岡・佐賀・山口・広島・島根・鳥取・兵庫・大阪・神奈川・東京・埼玉

「シャロン」

シャロンというのは聖書の舞台であるイスラエルの地名のひとつで、乾燥した気候のイスラエルにあっては珍しく、植物が生い茂り、花も咲く肥沃な土地なので、旧約聖書の中では理想郷のように扱われている場所です。「シャロンの花」とはそこに咲く可憐な花で、日本では「むくげ」と呼ばれます。旧約聖書の一編である「雅歌」では、純潔の象徴としてこの花が登場します。

讃美歌Ⅱ192番 "Jesus, rose of Sharon" Lyrics Ida A. Guirey 1922 Music Charles H. Gabriel 1922

学校法人

鎮西学院

〒854-0082 長崎県諫早市西米田1212-1

TEL 0957-26-8200 URL <http://www.chinzei-gakuin.jp/>

鎮西学院幼稚園

TEL 0957-25-1231

FAX 0957-25-1257

URL <http://chinzeigakuinyouchien.ed.jp>

鎮西学院高等学校

TEL 0957-25-1234

FAX 0957-25-1237

URL <http://chinzeigakuin.ed.jp/>

長崎ウエスレヤン大学

TEL 0957-26-1234

FAX 0957-26-2063

URL <http://www.wesleyan.ac.jp>

鎮西学院だより「シャロン」
2017. Vol.4

発行日／2017年1月31日

編集・発行／鎮西学院広報戦略室

発行人／森 泰一郎(学院長)

編集長／上田 常雄(広報戦略室長)